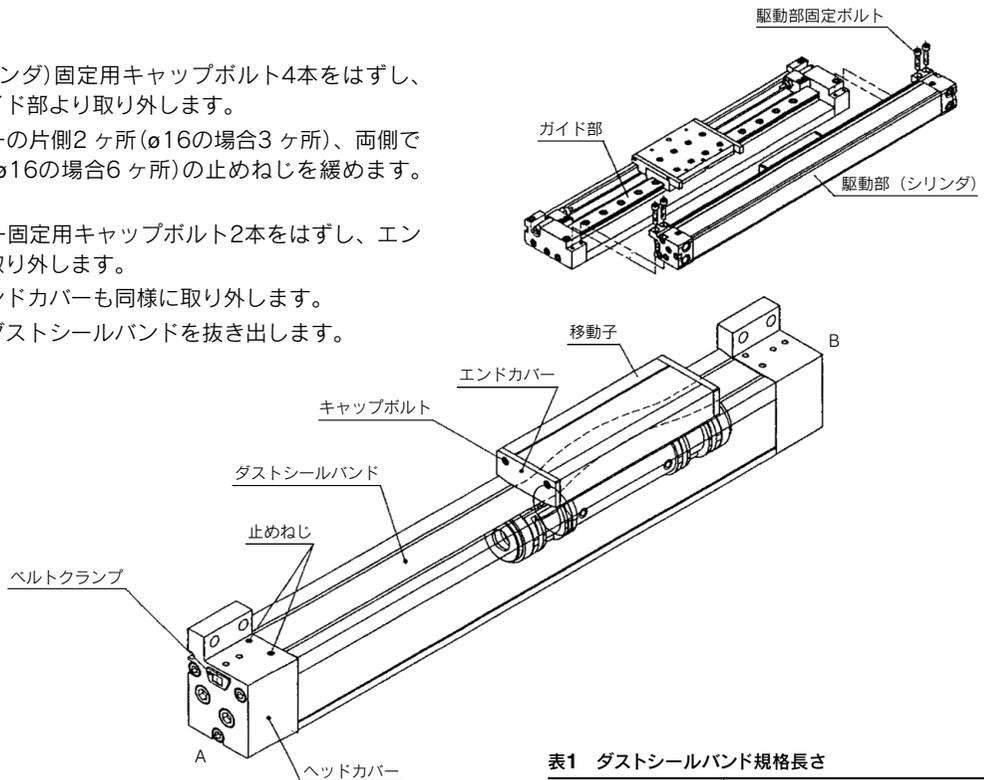


MY2C/H/HT Series ダストシールバンド交換要領

1 分解

- 駆動部(シリンダ)固定用キャップボルト4本をはずし、駆動部をガイド部より取り外します。
- ヘッドカバーの片側2ヶ所(φ16の場合3ヶ所)、両側で合計4ヶ所(φ16の場合6ヶ所)の止めねじを緩めます。(注1)
- エンドカバー固定用キャップボルト2本をはずし、エンドカバーを取り外します。
- 反対側のエンドカバーも同様に取り外します。
- この状態でダストシールバンドを抜き出します。



2 組立

- 交換用ダストシールバンドは、表1の寸法に切断し、両端部を図1の箇所に表2の寸法にて約10°折り曲げ(図2)ます。
- 折り曲げた側を下向の方向にして、シリンダチューブに装着します。(注2)
- エンドカバー下部とシリンダチューブ上面とのクリアランスが約1mm程度になる様に、エンドカバーを調整し固定します。この時、スクレーパが脱落したり、よじれて装着されない様ご注意ください。(図3)
- 反対側のエンドカバーも同様に固定します。
- ダストシールバンドのシリンダチューブよりのはみだし量が、表2のL寸法になる様端面位置を揃えてヘッドカバーに挿入し、A側の止めねじを固定します。(注3)
- ダストシールバンドにたるみがない様B側にダストシールバンドを引張り、B側の止めねじを固定します。
- 移動子を2~3回フルストローク往復させ、浮上り等の発生がないことを確認します。
- ダストシールバンド摺動部(シリンダチューブ上面)全体にグリースを塗布し、駆動部をガイド部に装着します。(注4)

- 注1)φ16の場合は、ベルトクランプを取り外してください。
 注2)ダストシールバンドは、薄い素材ですので、指定折り曲げ箇所以外、曲げたりよう取扱いにご注意ください。
 注3)止めねじの締付トルクは、0.1N・m(1kgf・cm)です。
 注4)グリースはリチウム石けん基の稠度1号または2号をご使用ください。

表1 ダストシールバンド規格長さ

ボア径	規格長さ
φ16	ストローク+160 ^{+%}
φ25	ストローク+176 ^{+%}
φ40	ストローク+270 ^{+%}

表2 ダストシールバンドL寸法

ボア径	L寸法(mm)
φ16	20
φ25	8
φ40	10

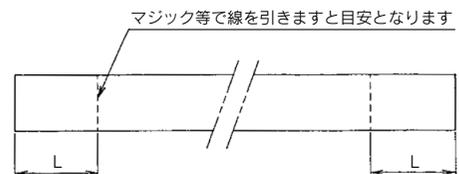


図1

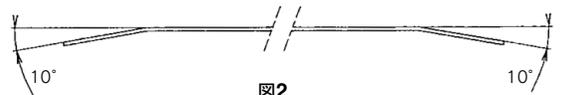


図2

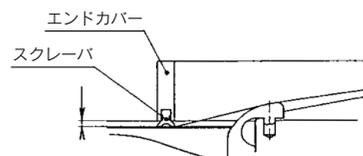


図3

アクチュエータ

モジュラ制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラ制御機器

工業用フィルタ